

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月12日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

|           |                           |         |              |
|-----------|---------------------------|---------|--------------|
| 団体名       | 兵庫県健康福祉部健康局健康増進課          | 代表者名    | 藤原恵美子        |
| 担当者部署     | 健康増進課                     | 連絡先電話番号 | 078-341-7711 |
| 担当者役職     | 主任                        | 担当者氏名   | 田村安理沙        |
| 住所        | 6500011 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10 |         |              |
| 連絡先E-mail |                           |         |              |

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー                      | 市川 博之   |
| 評価                          | 大変よい  |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 200人規模のオンラインでのワークショップは初めての試みであったが、事前打ち合わせで研修設計のみならず、WebExのブレイクアウトセッションの仕様や作成資料の共有方法、発表方法についてアドバイスをいただき、最適な受講環境を準備することができた。また、研修当日は、基調講演の公衆衛生の専門家である中山先生(京都大学)の話を踏まえて、データアカデミーの特徴(データ分析の技術を学ぶのではなくプロセスを覚えること、データの見せ方)についてもお話いただき、「目標・問題・課題」の設定のポイントや仮説を網羅的にあげる方法についてフレームや例示を多く出してご説明いただいた。 |
| アドバイザーへの要望事項                | 引き続き、事後のフォローアップもいただきながら、データアカデミーのプロセスを用い現課の課題解決についてご支援いただきたい。   |

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

|           | 派遣日         | 開始時刻      | 終了時刻   | 内休憩時間(分)   | 活動時間(分) |
|-----------|-------------|-----------|--------|------------|---------|
| 3-1. 活動   | 2020年11月24日 | 13時20分    | 16時30分 | 5          | 185     |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名         | オンライン     |        | 最寄駅        | オンライン   |
|           | 所在地         | オンライン     |        | 最寄駅からの交通手段 | オンライン   |
|           | 派遣形態        | 講演(オンライン) |        |            |         |

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

|      |   |
|------|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 |
|------|---|

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

|  |   |            |
|--|---|------------|
| 5-1. 支援を受けた対象者                                   | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】<br>県・市町衛生・国保・高齢・地域福祉関連部署に所属する事務職・保健師・管理栄養士  | 人数<br>211人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | <p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <p>昨今、健康関連のデータベースが増えておりデータの活用の重要性は認識されているが、データの活用が目的となり、多くの分析をしても現場の保健事業までつながっていなかったり、分析にとどまり、関連課と連携がとれておらず切れ目のない包括的な施策展開に至っていないという課題を抱えている。そのため、本ワークショップを機に、国保、健康、高齢、地域福祉等の関係部署間で組織横断的な連携してデータアカデミーを進め、課題を共通認識した上で解決していく場の創出が必要と考えている。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <p>各自自治体を感じている課題について、データアカデミーのプロセスを学び、自治体職員が課題解決していく力を向上する。また、県下の自治体の課題感のみならず、仮説の設定やデータ分析・評価、施策立案についても、好事例を共有し合いながら効率的な施策展開につなげていく。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修設計、WebExのブレイクアウトセッションの仕様や作成資料の共有方法、発表方法について</li> <li>データアカデミーの特徴(データ分析の技術を学ぶのではなく、プロセスを覚えること、データの見せ方等)</li> <li>「目標・問題・課題」の設定のポイントや仮説を網羅的にあげる方法について</li> </ul> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各自自治体がデータアカデミーのプロセスを理解し、自治体ごとに「目標・問題・課題」を設定し、仮説について検討することができた。</li> </ul> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他<br/>「目標・問題・課題・仮説」の設定に関するワークシート</p> <p>改善又は解決されなかった内容<br/>持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)</p> <p>仮説の洗い出しと必要なデータのブラッシュアップ</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。<br/>3日目1月25日に実施予定</p> <p>5-3. 今後の計画</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する</p> <p>事業の最終的な目指す姿</p> <p>各自自治体がデータアカデミーのプロセスを理解し、データを活用し現課の課題を解決できる。</p> |            |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

